



丸石製紙株式会社様に対する 『114 サステナブルベーシックローン』の実施について

百十四銀行（頭取 森 匡史）は 2026 年 7 月 31 日（金）、三島支店取引先 丸石製紙株式会社（愛媛県四国中央市 代表取締役 石村 浩）に対し『114 サステナブルベーシックローン（※1）』を実施しましたのでお知らせします。

今回、丸石製紙株式会社は、『売上高当たりの電力使用量の削減』を SPTs（※2）に定めました。当行はお客さまの企業戦略に即した SPTs の達成状況に応じて貸出金利を優遇することで、目標達成に向けた動機付けを行い、サステナブル経営を後押しします。

当行は、今後も地域金融機関として、お客さまの SDGs や ESG への取組みを支援してまいります。

（※1）環境・社会課題の解決に資する取組みを、自社の実績を基準に目標値を設定し、達成状況に応じて貸出金利を優遇する当行独自のローン商品。第三者評価機関からのセカンドオピニオン取得が必要となる、サステナビリティ・リンク・ローンに比べ、多くの企業が取り組みやすい設定としている。

（※2）Sustainability Performance Targets（環境や社会課題に対しポジティブな影響をもたらす企業目標）

記

1. 企業の概要

会 社 名 丸石製紙株式会社
所 在 地 愛媛県四国中央市上分町 457 番地
業 種 紙製品製造業

【サステナブルな取組み】

当社は、昭和 23 年の創業以来、古紙をリサイクルした再生紙を活用し、書道用紙・障子紙などの和紙やふせん紙の製造を主力事業としています。太陽光発電の自家消費も導入し、再生可能エネルギーの活用にも取り組んでいます。自然環境の保護と生物多様性の維持を経営の礎とし、美しい地球を未来の世代へつないでいくことをめざしています。

今回、『売上高当たりの電力使用量の削減』を SPTs に設定し、環境負荷の低減と持続可能な事業発展を推進してまいります。



2. SPTs について

売上高当たりの電力使用量の削減

以上